



花外楼・徳光正子五代目女将を囲む 雛御膳昼食会！

日時：2016年3月5日(土曜日) 12時～15時

講師：料亭“花外楼” 五代目女将 徳光正子さん

会場：“花外楼 北浜本店” 電話：06-6231-7214
大阪市中央区北浜1-1-14
京阪「北浜駅」29番出口すぐ 地下鉄堺筋線「北浜駅」徒歩2分

会費：12,500円(講演+お料理代)



天保元年(1830年)に、加賀の国から幕末の大坂にやって来た狭義心溢れる「伊助」が大川の畔に開いた料理旅館「加賀伊」。

「天下の台所」と称された大坂の玄関口として天満橋の八軒家一帯には、京都・伏見からの三十石船が行き交い、多くの船宿が居並び賑わっていました。幕末、「加賀伊」もそれらの船宿と共に軒を並べていました。ある日追われる討幕派の山口・萩藩の藩士を匿ったのがきっかけで、桂小五郎(木戸孝允)ら若き萩藩士らの大坂での定宿となりました。

そして、明治8年(1875)には明治維新新政府強化のため大久保利通、木戸孝允、板垣退助・伊藤博文・井上馨らが集う「大阪会議」の舞台となり、木戸孝允がその会議の成功を祝い自ら筆をとり「花外楼」と名付けました。

花外楼には、犬養毅・吉田茂・山県有朋・鴻池善右衛門・住友吉座衛門・岩崎弥之助・藤田伝三郎蒼々たる人々が集い、現在に至ります。



昨年6月に、北浜本店がリニューアル。北浜の地に店を開いて186年目の春に、熟塾のメンバーでもある伊助の血を引く五代目徳光正子女将を囲み五代友厚も訪ねた花外楼の歴史に耳を傾け、3月に因み雛御膳を味わう土曜日のゆったりとしたランチタイムを楽しみませんか。

徳光正子：天保年間創業の料亭「花外楼」の長女として大阪船場で生まれ育ち、甲南大学文学部社会学科を卒業後、家業に従事。ホテル出店に伴い初代店長を経て企画室を創設するなどして五代目女将へ。旅行、油絵、観劇と趣味は幅広く、「女性の地位改善」と「国際的、地域レベルでの奉仕」等を目的とした働く女性の国際ソント26 地区エリア4 大阪 ソンタクラブ会長としてもさまざまな活動を展開。大阪商工会議所女性会会員、FEC 国際親善協会女性会員など要職を兼務。

熟塾公開講座 花外楼・徳光正子五代目女将を囲む雛御膳昼食会参加申込書

申込み締切：3月2日(水) 大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：06-6281-8406

お名前			
ご住所	〒		
TEL NO		E-mail	

電話：090-8381-0150(不在の場合は、留守電にお名前・ご住所・お電話番号を録音願います)
熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com)からもお申し込みいただけます。
お申し込みいただくと、会場の場所等を明記した参加証を郵送いたしますので会費は当日ご精算ください。
着席でのお食事をご用意しています。3月2日(水)以降のキャンセルについては、会費12500円を請求させていただきますので、ご了承ください。